

次期障害者プラン 目標設定シート

項 目	ともに暮らす
	公営住宅の建替等によるバリアフリー化実施率
基本指針 の目標値	
現行プランの H26 目標値	指標の変更

設定した目標値	100%
設定の考え方（積算）	
<p>平成 7 年度に国が策定した長寿社会対応住宅設計指針に基づき、公営住宅の設計、整備を行っているが、平成 32 年度までに計画している住戸数を目標値とし、平成 25 年度までに整備された住戸数の実績との比率を指標として設定した。</p> <p>※目標値の考え方 H25 年度整備済みの住戸数 (A)※ 平成 25 年度実績 A / B = 79% H32 年度までの整備計画予定住戸数 (B)※ 100%</p> <p>・高齢世帯向けや身障者世帯向けに設計、整備された住戸数に平成 7 年度以降に設計、整備された住戸数を加えたものを整備済みの住戸数と設定する。</p>	
数値の出典	
<p>県、市町の整備戸数にかかる調査(住宅課)</p>	

次期障害者プラン 目標設定シート

項 目	ともに暮らす
	障害福祉サービス事業所等のサービス自己評価実施率
基本指針 の目標値	(空欄)
現行プランの H26 目標値	100%

設定した目標値	100%
設定の考え方（積算）	
<p>障害福祉サービスの向上と、適切なサービスが受けられるよう県民・利用者へのサービス情報の提供を推進していく必要がある。事業所に自己点検、反省、サービス改善の好循環を生み出させるため、事業所によるサービス自己評価実施率を指標とする。</p> <p>※目標値の考え方 毎年4%の増加を目標とする。 H25年：72%（実績） H26年：76% H27年：80% H28年：84% H29年：88% H30年：92% H31年：96% H32年：100%</p>	
数値の出典	
(空欄)	

次期障害者プラン 目標設定シート

項 目	ともに働く
	県内のハローワーク登録者のうち、就業中の障害者の数
基本指針 の目標値	(空欄)
現行プランの H26 目標値	新規

設定した目標値	6,450 人 (H30)
設定の考え方 (積算)	
<p>障害者が働くにあたっては、仕事に就くことと同時に、仕事を続けることにも難しさがあることから、実際の雇用状況を表す指標として設定した。</p> <p>※目標値の考え方 商工観光労働部が設定する次期基本構想の目標値との整合を図る。 毎年 200 人増 (過去 10 年の在職者数の増加人数の平均)</p> <p>25 年度 5,444 人 26 年度 5,650 人 27 年度 5,850 人 28 年度 6,050 人 29 年度 6,250 人 30 年度 6,450 人</p>	
数値の出典	
滋賀労働局調べ	

次期障害者プラン 目標設定シート

項 目	ともに働く
	働き・暮らし応援センターで支援する在職者数
基本指針 の目標値	(空白)
現行プランの H26 目標値	新規

設定した目標値	3,400 人
設定の考え方（積算）	
<p>項目の定義：働き・暮らし応援センターに登録している障害者のうち、在職している者の数</p> <p>障害者が働くにあたっては、仕事に就くことと同時に、仕事を続けることにも困難が伴う場合が多いため、雇用された後にその人らしい働き方で社会参画を継続できているかを重視し、この指標を設定した。</p> <p>※目標値の考え方 働き・暮らし応援センターで支援する在職者数について、平成 20 年度の 925 人から平成 25 年度の 2,018 人まで、年平均約 200 人増加している。したがって、7 年後には、$2,018 \text{ 人} + (200 \text{ 人} \times 7 \text{ 年}) = 3,400 \text{ 人}$という目標を設定した。</p>	
数値の出典	
働き・暮らし応援センターからの実績報告	

次期障害者プラン 目標設定シート

項 目	ともに働く
	法定雇用率達成企業割合
基本指針 の目標値	65%
現行プランの H26 目標値	65%

設定した目標値	65%																
設定の考え方（積算）																	
<p>雇用・就労面で、障害のある人の就労が最も難しい部分であり、「共生社会しが」づくりを進めている本県において、全国で上位を目指す必要があるため、この指標を設定した。</p> <p>※目標値の考え方 平成 25 年 6 月 1 日時点では、全国 1 位は佐賀県の 63.6%であり、それを超える 65%を目標値として設定した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">滋賀県</th> <th style="text-align: center;">全国</th> <th style="text-align: center;">全国順位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">H23.6.1</td> <td style="text-align: center;">50.4%</td> <td style="text-align: center;">45.3%</td> <td style="text-align: center;">24 位</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">H24.6.1</td> <td style="text-align: center;">54.7%</td> <td style="text-align: center;">46.8%</td> <td style="text-align: center;">18 位</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">H25.6.1.</td> <td style="text-align: center;">51.8%</td> <td style="text-align: center;">42.7%</td> <td style="text-align: center;">16 位</td> </tr> </tbody> </table>			滋賀県	全国	全国順位	H23.6.1	50.4%	45.3%	24 位	H24.6.1	54.7%	46.8%	18 位	H25.6.1.	51.8%	42.7%	16 位
	滋賀県	全国	全国順位														
H23.6.1	50.4%	45.3%	24 位														
H24.6.1	54.7%	46.8%	18 位														
H25.6.1.	51.8%	42.7%	16 位														
数値の出典																	
障害者雇用状況調査（滋賀労働局）																	

次期障害者プラン 目標設定シート

項 目	ともに働く
	平均工賃月額が 30,000 円以上の就労継続支援 B 型事業所の全体に占める割合
基本指針 の目標値	(Blank)
現行プランの H26 目標値	指標の変更

設定した目標値	30%
設定の考え方（積算）	
<p>一般就労が難しく、福祉的就労をしている障害のある人については、経済的自立を図る上で、平均工賃月額の向上が重要であるが、就労継続支援 B 型事業所は全体として平均工賃月額が低く、一層の底上げを図る必要があるため、この指標を選んだ。</p> <p style="margin-left: 40px;">H25 就労継続支援 B 型事業所の総数：131 事業所（A） うち平均工賃月額が 15,000 円未満：65 事業所 15,000～30,000 円：53 事業所 30,000 円以上：13 事業所（B）</p> <p>※目標値の考え方 H25 $A / B * 100 = 9.9\%$（C） H32 30.0%（毎年約 3%増加を目指す）</p>	
数値の出典	
工賃（賃金）実績等にかかる調査（障害福祉課）	

次期障害者プラン 目標設定シート

項 目	ともに活動する
	障害者スポーツ県大会およびスペシャルスポーツカーニバルの参加人数
基本指針の目標値	(斜線表示)
現行プランのH26 目標値	新規

設定した目標値	2,000 人
設定の考え方（積算）	
<p>2024年全国障害者スポーツ大会の開催に向けて障害のある若い人の参加の促進を図るとともに、スポーツを楽しむ人のすそ野を一層広げていく必要があることから、県が主催する障害児・者を対象としたスポーツ競技大会および知的障害児・者を対象とした運動会に参加した選手の延べ人数を指標とする。</p> <p>※目標値の考え方 次期基本構想の目標値との整合を図る。 H32 の目標値：2,000 人（過去 5 年間における実績の最高人数に近づくことを目指す。）</p>	
数値の出典	
障害者スポーツ大会等開催事業委託料実績報告（障害福祉課）	

次期障害者プラン 目標設定シート

項 目	ともに活動する
	障害者スポーツ指導員の資格を取得した生涯スポーツ関係指導者の人数
基本指針の目標値	(斜線)
現行プランのH26 目標値	新規

設定した目標値	30 人
設定の考え方（積算）	
<p>2024年全国障害者スポーツ大会の開催に向け障害者スポーツの振興を図っていく上で、指導者の養成が必要なことから、（公財）日本障がい者スポーツ協会公認障害者スポーツ指導員資格を取得した総合型地域スポーツクラブの指導者およびスポーツ推進員の人数を指標とする。</p> <p>※目標値の考え方 全国障害者スポーツ大会が開催される平成 36 年度までに 50 人（各市町 2 人程度）の養成を目指す。 6 年間の養成人数：50 人／10 年*6 年=30 人 H26 年度：4 人</p>	
数値の出典	
滋賀県障害者スポーツ協会調べ	

次期障害者プラン 目標設定シート

項 目	ともに活動する
	障害者アート公募展への応募作品数
基本指針 の目標値	(空白)
現行プランの H26 目標値	328 点

設定した目標値	280 点
設定の考え方（積算）	
<p>障害のある人の芸術文化活動を推進するため、障害のある人が造形作品を発表する機会を充実していく必要があることから、県が主催する公募展（ぴかっ to アート展）への応募作品数を指標とする。</p> <p>※目標値の考え方 過去 3 年間の応募作品数の平均：240 点 在宅の障害のある方から応募を毎年 5 点増やしていく H25 年度：242 点</p> <p>H32 の目標値：240 点+5 点 * 7 年間 ÷ 280 点</p>	
数値の出典	
障害者アート公募展開催事業委託料実績報告（障害福祉課）	

次期障害者プラン 目標設定シート

項 目	共生のまちづくり
	コミュニケーション支援派遣回数
基本指針 の目標値	
現行プランの H26 目標値	11,000 回

設定した目標値	11,000 回
設定の考え方（積算）	
<p>コミュニケーション支援を必要とする人の社会参加を推進するため、手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者通訳介助者の派遣回数を指標とする。</p> <p>※目標値の考え方 H23→H25 の派遣回数の平均増加率：約 2% H26 以降毎年 2%の増加を目指す H25：9,689 H26：9,800 H27：10,000 H28：10,200 H29：10,400 H30：10,600 H31：10,800 H32：11,000</p>	
数値の出典	
<p>聴覚障害者コミュニケーション確保対策事業実績報告 盲ろう者社会参加促進事業実績報告</p>	

次期障害者プラン 目標設定シート

項 目	共生のまちづくり
	特定道路におけるバリアフリー化率
基本指針 の目標値	
現行プランの H26 目標値	指標の変更

設定した目標値	100%
設定の考え方（積算）	
<p>○高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー新法)に基づく重点整備地区内の特定道路について、車いすが完全にすれ違える幅の広い歩道、点字ブロック、段差・傾斜の解消の整備等、道路移動等円滑化基準を満たす道路の割合。</p> <p>○上位計画である障害者基本計画（平成 25 年 9 月）に同じ指標で H32 目標値として 100%となっており、これとの整合を図り設定。</p> <p>H25 年度実績：62.1%</p>	
数値の出典	

次期障害者プラン 目標設定シート

項 目	共生のまちづくり
	駅のバリアフリー化率
基本指針 の目標値	80.5%
現行プランの H26 目標値	80.5%

設定した目標値	100%
設定の考え方（積算）	
<p>○高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく「移動等円滑化の促進に関する基本方針」で、1日の平均利用者数が3,000人以上の鉄道駅を平成32年度までにバリアフリー化するという整備目標がある。</p> <p>○県内においても、この基準に準じて、利用者数3,000人/日以上 of 鉄道駅については、バリアフリー化整備を進めていくこととしている。</p> <p>平成26年3月末 32駅/42駅 整備済 76.2% 目標：平成33年3月末 42駅/42駅 整備率 100%</p>	
数値の出典	
鉄道駅バリアフリー化整備状況（交通政策課作成）	

次期障害者プラン 目標設定シート

項 目	共生のまちづくり
	高次脳機能障害の専門研修に参加した支援者数
基本指針 の目標値	
現行プランの H26 目標値	新規

設定した目標値	180 人
設定の考え方（積算）	
高次脳機能障害支援センターでの年間養成数（30 人） × 6 年	
数値の出展	
・ 高次脳機能障害支援センター実績報告	